



群馬県サッカー協会高体連記録用紙

マッチコミッサー	主審
----------	----

大会名	平成29年度 群馬県高校サッカー新人大会				マッチNo.		準決勝	第1試合			
日時	平成 30 年 2 月 10 日 (土) 10:30 K.O.	試合時間	80 分	試合会場	前橋商業高校グラウンド						
天候	晴れ 微風	ピッチ	人工芝	状態	良	温度	7 °C	湿度	47 %	観客数	300 人
主審	櫻井 康人		副審	齋田 幸宏			第4審判	徳江 諭史			
会場責任者	吉澤 正		副審	高桑 健一			記録担当者	関根 努			

ユニフォーム	白黒 / 黒 / 白黒	0	前半	0	1	青 / 青 / 青	ユニフォーム
前橋商業		0	後半	1	1	桐生第一	
			延長前半				
			延長後半				

KICK OFF PK KICK OFF

交代時間	シュート			計	得点	選手名	背番号	位置	学年	Cap.	学年	位置	背番号	選手名	得点	計	シュート			交代時間
	延長	後半	前半														前半	後半	延長	
		0	0	0		塩浦 勇斗	1	GK	2		2	GK	81	杉浦 駿介	0	0	0			
		0	0	0		齋田 新	2	DF	2	C	2	DF	35	角野 寛太	0	0	0			
		0	0	0		松澤 佳蔵	3	DF	2		2	DF	47	中野 就斗	0	0	0			32
		0	0	0		星野 剛	6	MF	2		2	DF	48	細瀨 海	1	0	1			
		0	0	0		石井 那智	8	MF	2		2	DF	49	本間 啄朗	0	0	0			
		0	0	0		矢端 廉	15	MF	1		1	MF	15	須藤 礼智	0	0	0			
80		0	0	0		帖佐 知樹	17	MF	1		2	MF	31	梅林 幹	2	2	0			
74		0	1	1		山越 稜太	9	FW	1		2	MF	45	田中 渉	1	0	1			
		0	0	0		齋藤 建	10	FW	2	C	2	MF	52	松下 駿也	1	1	0			62
		0	0	0		中島 怜意	11	FW	2		2	FW	34	小澤 謙登	2	0	2			
		0	0	0		下境 涼太	13	FW	2		2	FW	38	楠 大樹	1	3	0	3		
						諸田 智樹	12	GK	2		2	GK	82	吉田 陸人						
17		0	0	0		蘇原 陸斗	7	MF	2		2	DF	32	大圖 樹弥						
9		0	0	0		石川 大夢	14	FW	1		2	DF	44	田代 裕紀	0	0	0			47
						須田 大河	18	MF	1		1	DF	2	青木 脩悟						
						下田 康太	19	DF	1		1	DF	7	遠藤 青空						
												1	DF	23	眞玉橋綺人					
												2	MF	39	熊谷 広夢					
												2	MF	40	小池 泰誠					
												1	MF	5	板橋 黎					
												1	FW	17	竹下 諒					
												1	FW	26	若月 大和	0	0	0		52

警告・退場					監督					監督					警告・退場				
時間	警・退	理由	背番号	氏名	笠原 恵太					田野 豪一					時間	警・退	理由	背番号	氏名
					延長	後半	前半	チーム合計			前半	後半	延長						
						0	1	1	シュート	10	3	7							
						11	5	16	GK	1	1	0							
						0	2	2	CK	4	2	2							
						2	6	8	直接FK	5	1	4							
						1	1	2	間接FK	1	1	0							
						0	0	0	PK	0	0	0							

【警告理由】 C1:反スポーツ的行為 C2:ラフプレイ C3:異議 C4:繰り返しの違反 C5:遅延行為 C6:距離不足 C7:無許可入 C8:無許可去
【退場理由】 S1:著しく不正なプレイ S2:乱暴な行為 S3:つば吐き S4:得点機会阻止(手) S5:得点機会阻止(他) S6侮辱 CS:警告2回

時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過(〜ドリブル、→ゴロ、↑浮き球、×混戦、Hヘディング、Sシュート)																
80+3	桐生第一	38 楠 大樹	34 小澤 謙登	中-1	34	~	→	38	ダイレクト	右足S										

【戦評】 記者氏名 大塚 達夫 (渋川高校)

伝統の堅い守備から手堅く勝ち上がった前商とプリンスリーグ参入を果たした実力を見せつけ、勝ち上がった桐一との対戦、4-1-4-1の基本的な布陣からサイドバック⑧細瀨が中に入り、MF⑤田中を中心に中盤を厚くし、両サイドの幅を使った攻撃を仕掛ける桐一に対し、前商は、4-4-2のブロックをコンパクトに保ち、CBキャプテン⑩齋藤を中心とした、粘り強い守備からショートカウンターを狙う。前半は、桐一がボールを支配し、押し気味に試合を進めるが、決定機を作れず終了した。後半に入り、桐一がギアを上げ、攻撃のテンポアップを図るが、前商も集中力を切らさない。このまま延長かと思われたアディショナルタイム、④小澤がバイタルエリアで相手を引き付け、⑧楠のパス、これを落ち着いてゴール右隅に押し込み、値千金の決勝ゴールを挙げ、1-0で桐一が勝利した。
前商の伝統的な守備の堅さも表現できていたが、桐一の高いボールポゼッション率が、前商の体力を奪っていたことを考えると、今年の桐一のレベルの高さを予感させる内容でもあった。